

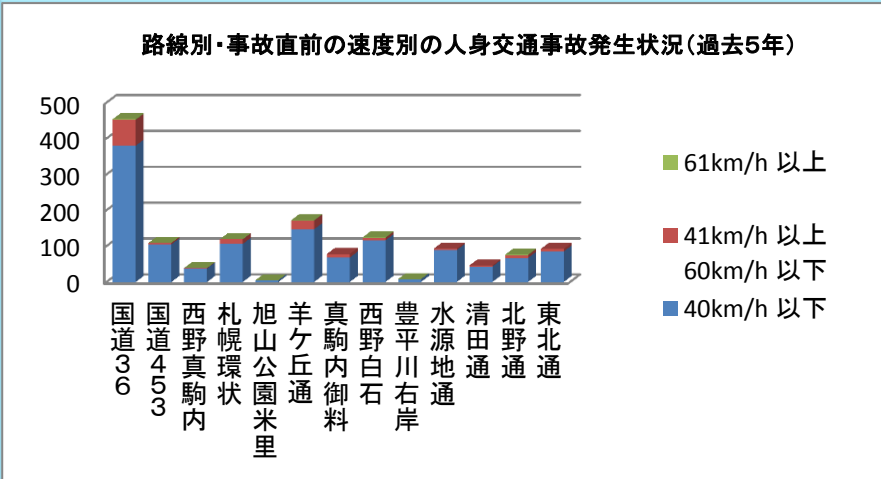
速度取締指針

札幌方面豊平警察署の速度取締りの重点

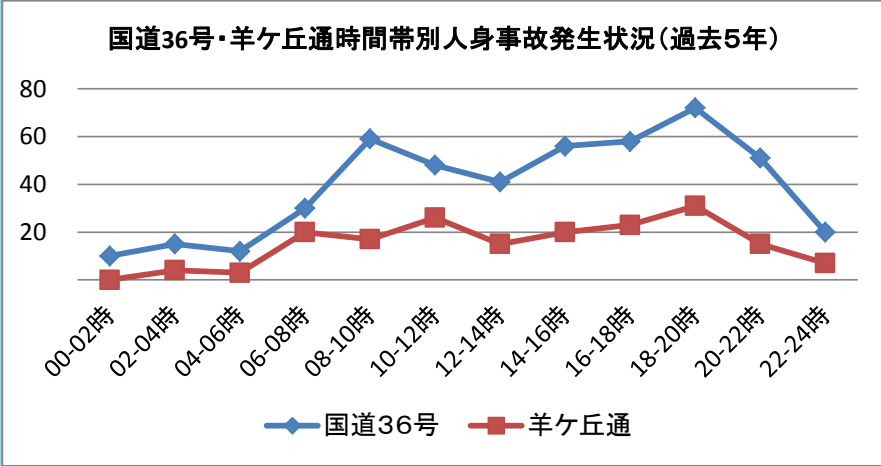
路線	時間帯	地域	規制速度
道道西野真駒内清田線	9時～19時	市街地	指定速度(50km/h)
道道真駒内御料札幌線	9時～19時	郊外	指定速度(50km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

札幌方面豊平警察署管内の交通事故実態等



過去5年(7月～12月)における人身交通事故発生状況を路線別に比較すると、国道36号線が最も多く、次いで羊ヶ丘通、西野白石線となっている。



過去5年(7月～12月)における国道36号線と羊ヶ丘通交通事故は8時前後に多発した後、一旦減少するが昼以降増加傾向を示し、18-20時頃がピークである。

道路交通環境

- ・ 国道36号線の交通事故は、速度超過による交通事故よりも、交差点事故が多いことから、信号無視や一時停止、通行禁止違反等の交差点違反を中心に多角的な交通取締りが必要
- ・ 道道西野真駒内清田線の事故発生件数は減少傾向にあるが、札幌ドームに接する主要な道道である。管内の過去5年以内における事故直前の速度が61km/h以上となる人身事故は、札幌ドーム付近の発生が多く、今後も行楽期に伴って事故の発生が懸念されることから、走行速度の抑制が必要
- ・ 道道真駒内御料札幌線は、郊外部の幹線道路で重大事故の発生しやすい環境があり、今後の行楽期に伴って滝野公園などへの往来車両の増加が予想されることから、無謀運転など走行速度の抑制が必要

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反取締りを強化